



水道 GLP 認定証授与式（1月24日）

水道 GLP 認定委員会で新規認定が決定した株式会社環境計量センター（JWWA-GLP140）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



配管設計講習会（北海道会場：1月9日～11日、関東会場第2回：1月16日～18日）

水道事業者及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々84名（北海道会場34名、関東会場第2回50名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について、研修を実施した。

第139回水道 GLP 認定委員会（1月15日）

水道 GLP 認定について、久留米市企業局（JWWA-GLP021）、佐賀東部水道企業団（JWWA-GLP070）、北千葉広域水道企業団（JWWA-GLP071）、一般社団法人群馬県薬剤師会（JWWA-GLP116）と高槻市水道部（JWWA-GLP117）が認定更新検査機関として、横浜市水道局（JWWA-GLP093）と株式会社静環検査センター（JWWA-GLP131）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

第730回抄録委員会（1月18日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容等について、審議を行った。

水道施設管理技士1・2級資格試験（1月20日）

平成30年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、計849名が受験した。

水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（1月21日～25日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々81名の参加を得て、「水質概論（衛生管理含む）」、「水質管理（原水・浄水）」、「水質管理（送配水）」、「精度管理と成績表示」、「機器分析（IC、原子吸光、ICP、ICP/MS）」、「機器分析（GC、GC/MS、HPLC、LC/MS）」、「理化学試験（一般性状・非金属・金属）」、「理化学試験（無機物・有機物）」及び「理化学試験（生物試験・微生物試験）」について、研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第8回：1月22日～25日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

平成30年度第1回水道施設地震リスク管理検討委員会（1月25日）

本年10月にアメリカ合衆国・ロサンゼルス市で開催予定の「第11回日米台水道地震対策ワークショップ」の概要や論文募集方法等について事務局より説明を行い、審議・意見交換を行った。

また、日本開催となる「第12回日米台水道地震対策ワークショップ」の開催地について、審議した。



水道技術者専門別研修会（導送配水施設部門（設計施工と維持管理））（1月28日～2月1日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々91名の参加を得て、「水運用計画」、「導・送・配水施設の整備」、「配管設計の基礎」、「配管施工の実務」、「送・配水施設の維持管理」、「水道施設の耐震化」、「施設（構造物）の設計」及び「漏水防止」について、研修を実施した。

第99回検査事業委員会（1月31日）

はじめに、議題1「正副委員長の互選について」を事務局より上程し、委員長に狩野東京都水道局建設部長、副委員長に村田大阪市水道局浄水統括担当部長が選出された。

次に、議題2「第98回検査事業委員会議事録について」を事務局より説明し、了承された。

次に、議題3「検査工場の不正行為に関する処分について」を事務局より説明し、慎重審議の上、了承された。



第972回会誌編集委員会（1月31日）

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の査読等について、審議を行った。

第81回中小規模水道問題協議会（2月6日）

はじめに、香川県広域水道企業団丸亀事務所長の喜田孝雄氏より「香川県における水道広域化について」の発表があった。

次に、メンバー都市及び事務局から提案された情報交換事項①大口径配水管の漏水、破損修繕材料の確保について、②給水引込管の更新について、③閉庁時における水道施設の管理体制について、④独自災害マニュアルの見直しについて、⑤包括業務委託（公民連携）

について、⑥改正水道法の施行に向けた取組み状況について、⑦水道施設のダウンサイジングの取組み状況について、それぞれ情報交換を行った。

